

2019年3月期 第2四半期

# 決算説明会資料

2018年11月12日

UTグループ株式会社

証券コード 2146

# 目次

**1** 2019年3月期 第2四半期 決算概要

**2** 外国人技能実習生管理代行事業について

**3** コミットメント

**4** UTグループについて

# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

# 連結業績ハイライト

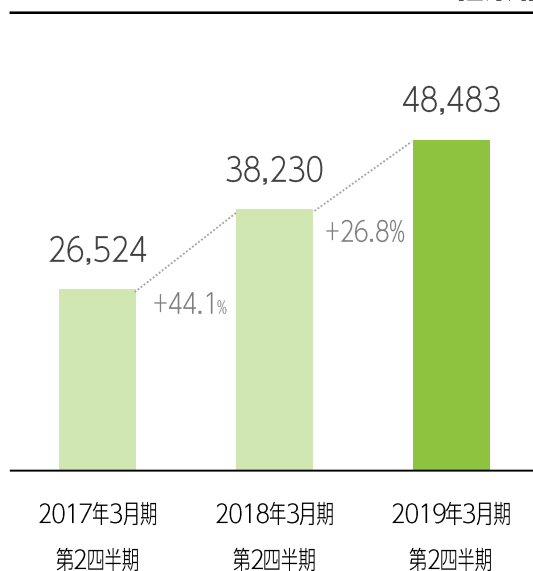
好調な需要と採用力を背景に26.8%増収 (前期比)

高単価・大ロット案件の拡大により43.9%の営業増益 (前期比)

1株当たり四半期純利益は31.8%増加 (前期比)

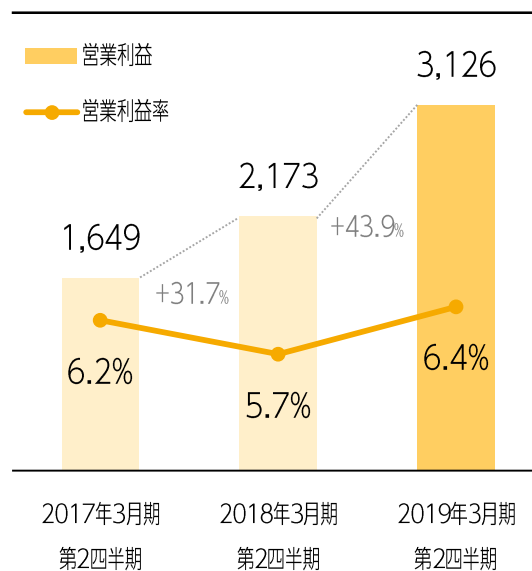
連結売上高

[百万円]



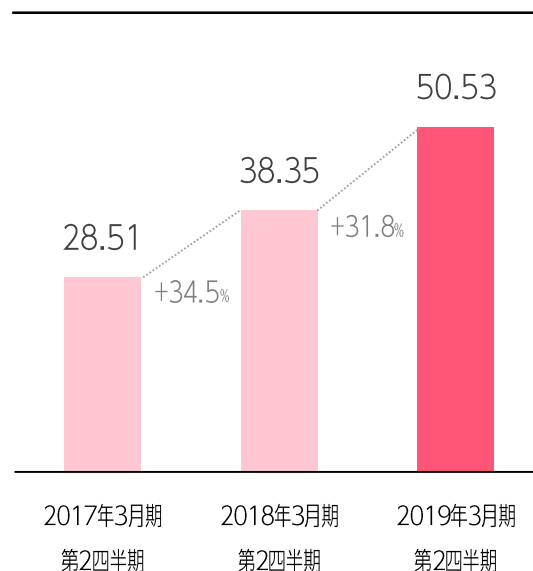
営業利益・営業利益率

[百万円]



1株当たり四半期純利益

[円]



# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

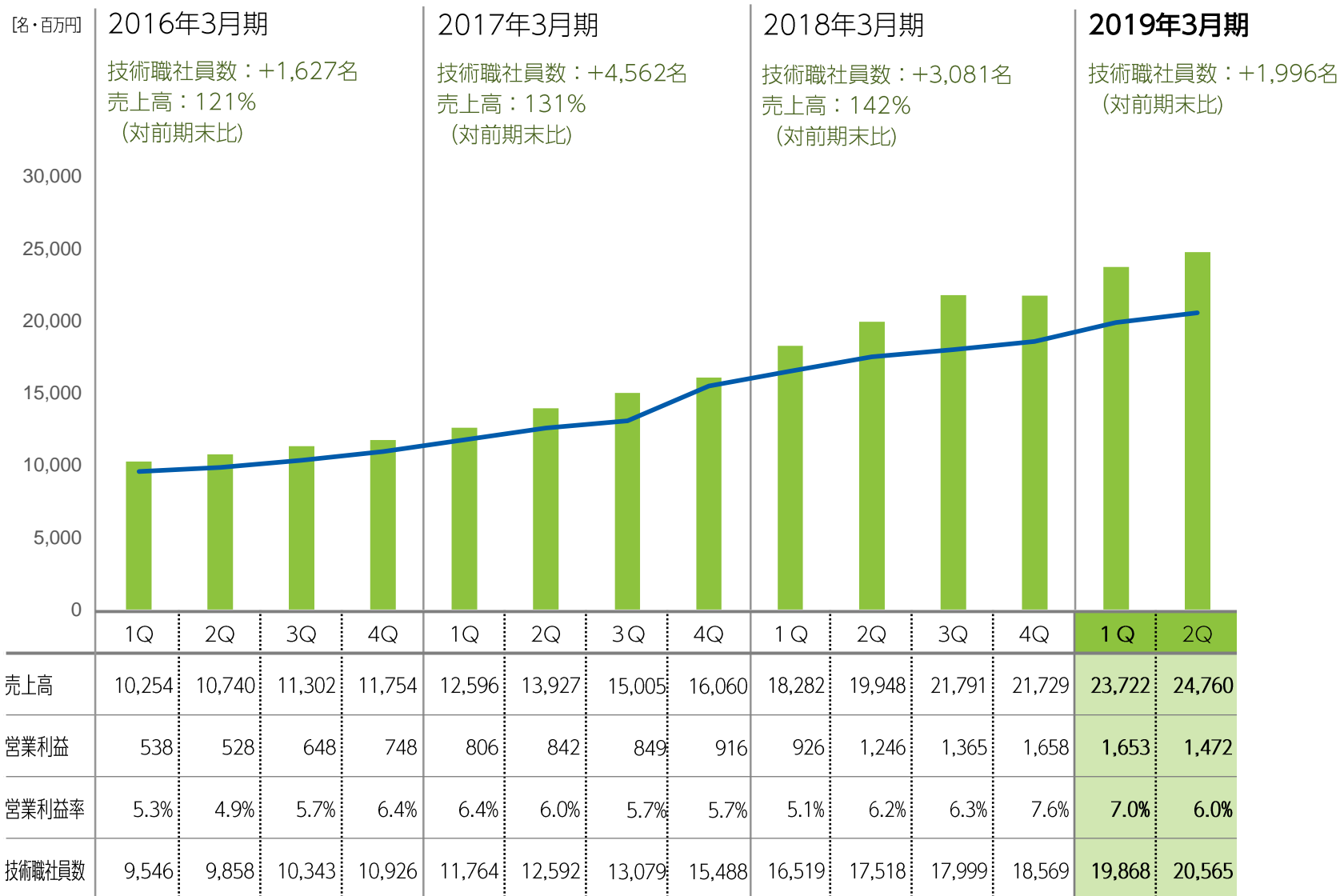
## 連結損益計算書の概要

[百万円]

	2018年3月期 第2四半期		2019年3月期 第2四半期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	<b>38,230</b>	100.0%	<b>48,483</b>	100.0%	10,252	26.8%
売上総利益	<b>7,331</b>	19.2%	<b>9,627</b>	19.9%	2,295	31.3%
販売費及び一般管理費	<b>5,158</b>	13.5%	<b>6,501</b>	13.4%	1,342	26.0%
営業利益	<b>2,173</b>	5.7%	<b>3,126</b>	6.4%	953	43.9%
EBITDA	<b>2,421</b>	6.3%	<b>3,411</b>	7.0%	990	40.9%
経常利益	<b>2,167</b>	5.7%	<b>3,124</b>	6.4%	957	44.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>1,417</b>	3.7%	<b>2,040</b>	4.2%	623	44.0%
技術職社員数 [名]	<b>17,518</b>	—	<b>20,565</b>	—	3,047	17.4%

# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## 四半期単位の売上高・技術職社員数の推移



# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## 連結貸借対照表の概要

[百万円]

	2018年6月		2018年9月		前四半期末比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	<b>23,734</b>	81.5%	<b>24,636</b>	82.0%	<b>902</b>	3.8%
現金及び預金	10,511	36.1%	11,447	38.1%	935	8.9%
受取手形及び売掛金	11,965	41.1%	11,968	39.9%	3	0.0%
<b>固定資産</b>	<b>5,389</b>	18.5%	<b>5,388</b>	17.9%	<b>△0</b>	△0.0%
有形固定資産	315	1.1%	332	1.1%	16	5.2%
無形固定資産	2,604	8.9%	2,586	8.6%	△17	△0.7%
のれん	2,092	7.2%	1,991	6.6%	△101	△4.8%
投資その他の資産	2,469	8.5%	2,470	8.2%	0	0.0%
<b>繰延資産</b>	<b>1</b>	0.0%	<b>1</b>	0.0%	<b>△0</b>	△0.0%
<b>総資産</b>	<b>29,124</b>	100.0%	<b>30,026</b>	100.0%	<b>901</b>	3.1%
<b>流動負債</b>	<b>14,899</b>	51.2%	<b>15,186</b>	50.6%	<b>286</b>	1.9%
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	2,159	7.4%	2,073	6.9%	△86	△4.0%
<b>固定負債</b>	<b>5,165</b>	17.7%	<b>4,803</b>	16.0%	<b>△361</b>	△7.0%
長期借入金	4,852	16.7%	4,413	14.7%	△439	△9.0%
<b>純資産</b>	<b>9,059</b>	31.1%	<b>10,037</b>	33.4%	<b>977</b>	10.8%
株主資本	8,979	30.8%	9,948	33.1%	969	10.8%
<b>負債＋純資産</b>	<b>29,124</b>	100.0%	<b>30,026</b>	100.0%	<b>901</b>	3.1%
<b>グロスDELシオ</b>	<b>0.80</b>	—	<b>0.66</b>	—	—	—

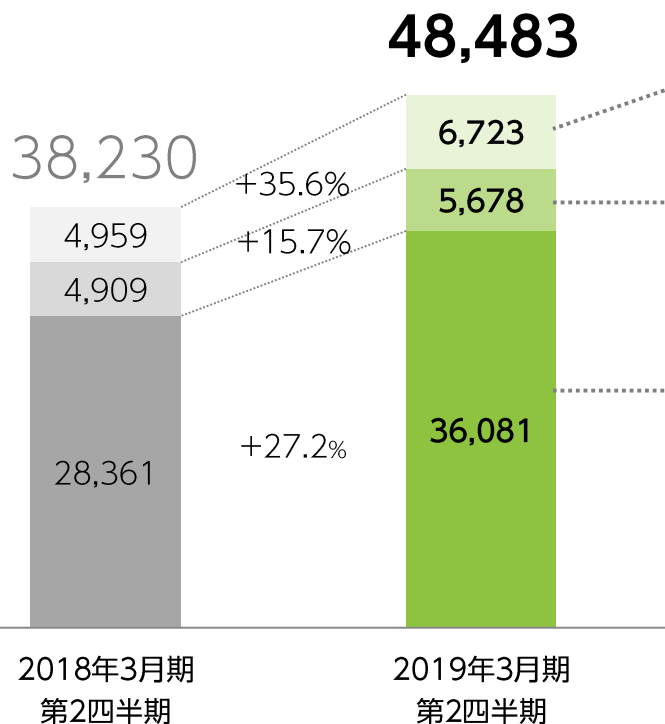
# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 - 売上高推移・構成比

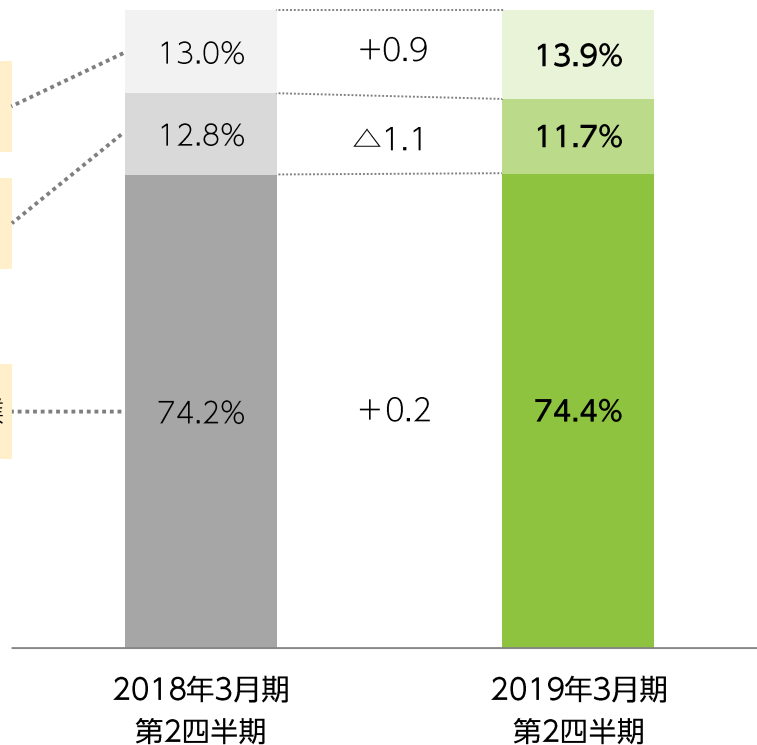
○ 好調な人材需要により全セグメントで増収

### 売上高

[百万円]



### 売上高構成比



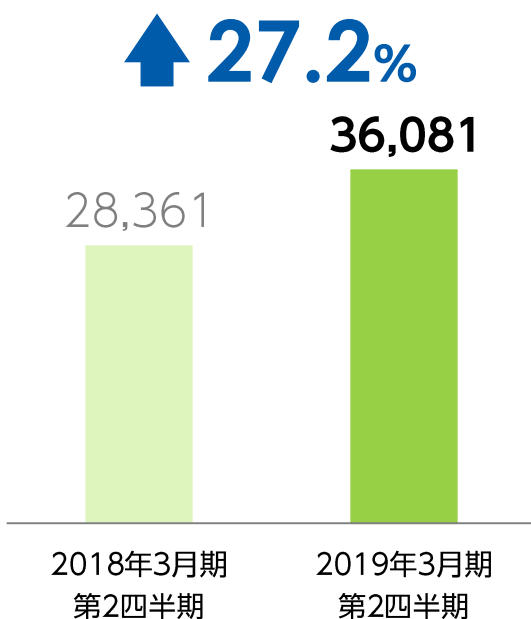


## セグメント別業績 - マニュファクチャリング事業

- 人手不足による採用難、契約社員からの切り替え需要など派遣需要は旺盛
- 自動車関連分野の急激な増加により採用効率が一時的に低下するも、工場あたり人数の増加等により営業利益率は前年同期水準を維持

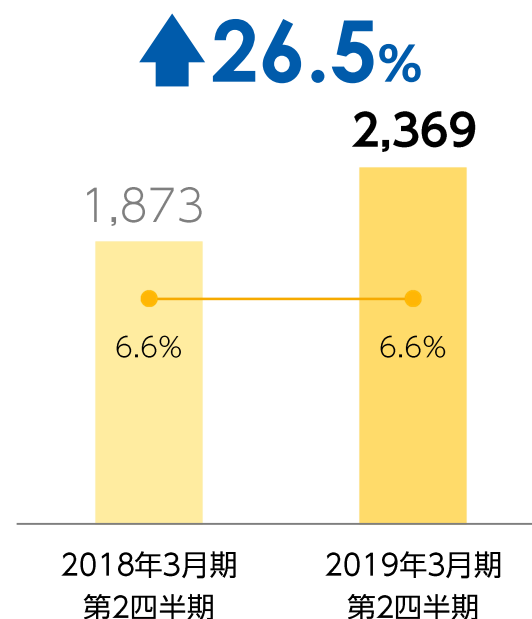
売上高

[百万円]



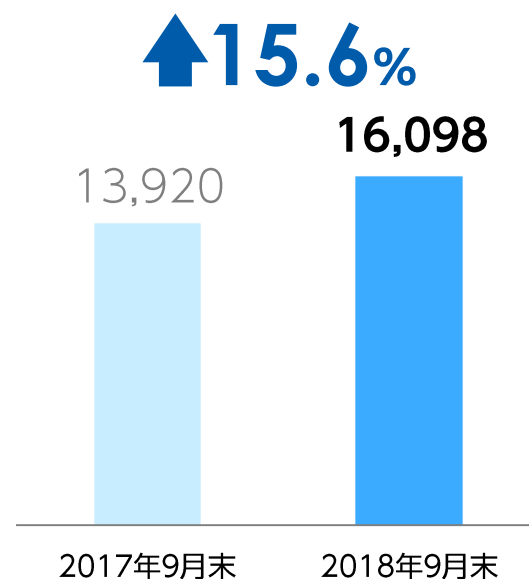
営業利益・営業利益率

[百万円]



技術職社員数

[名]

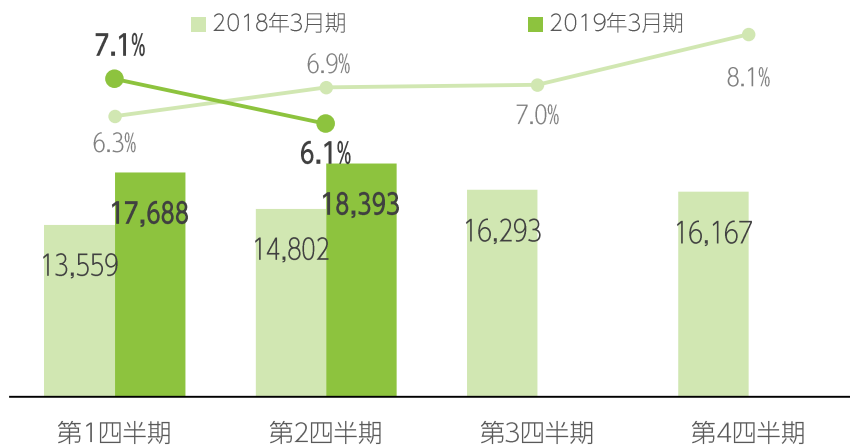


# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 - マニュファクチャリング事業

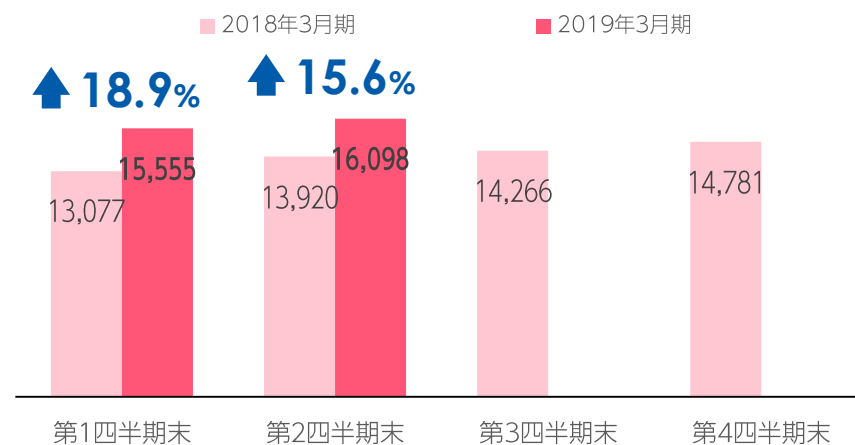
### 売上高・営業利益率

[百万円]



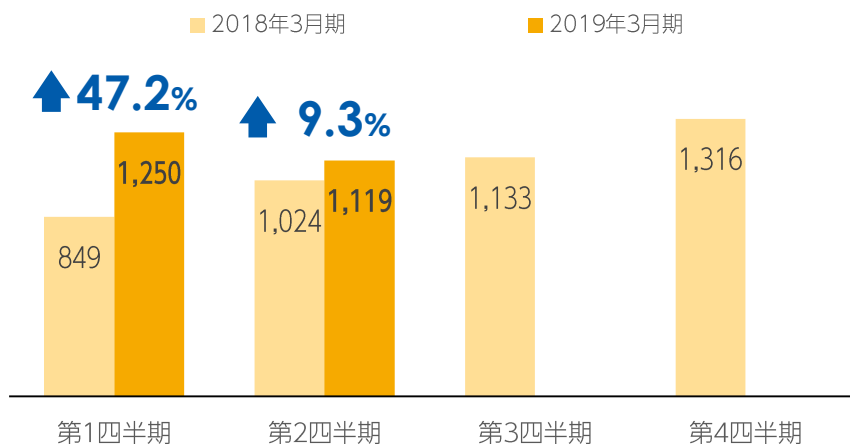
### 技術職社員数

[名]



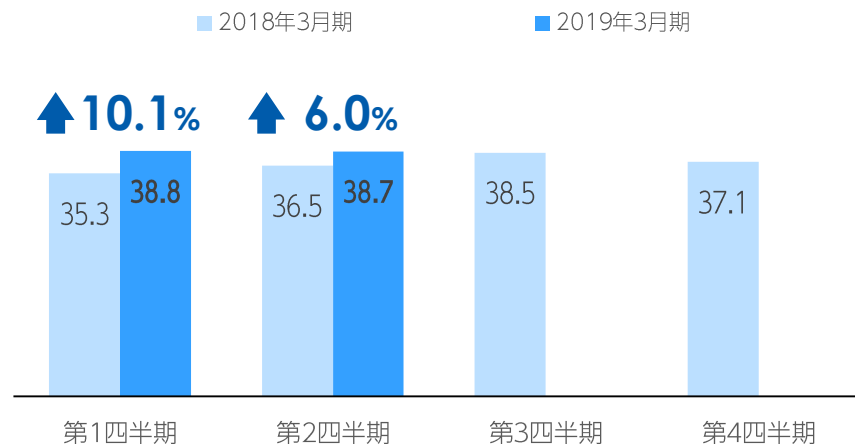
### 営業利益

[百万円]



### 一人当たりの平均月間売上高

[万円]



※四半期売上高を期中平均技術職社員数で除いたものから1ヶ月の平均売上高を算出

# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業 (分野別売上高)

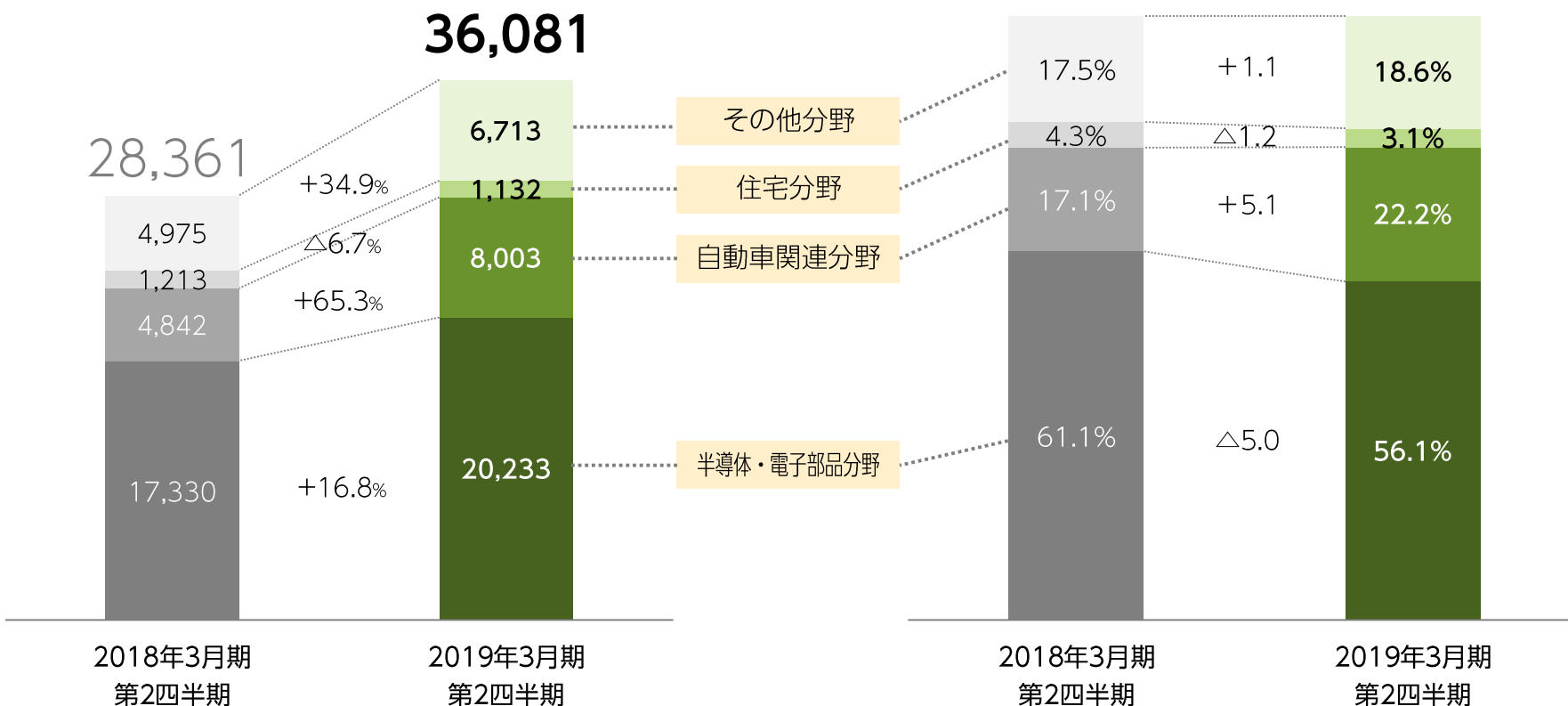
○ 期間工からの切り替え需要で自動車関連分野が増加

○ 高単価・大人数案件へのシフトにより、住宅分野が減少

売上高

[百万円]

売上高構成比

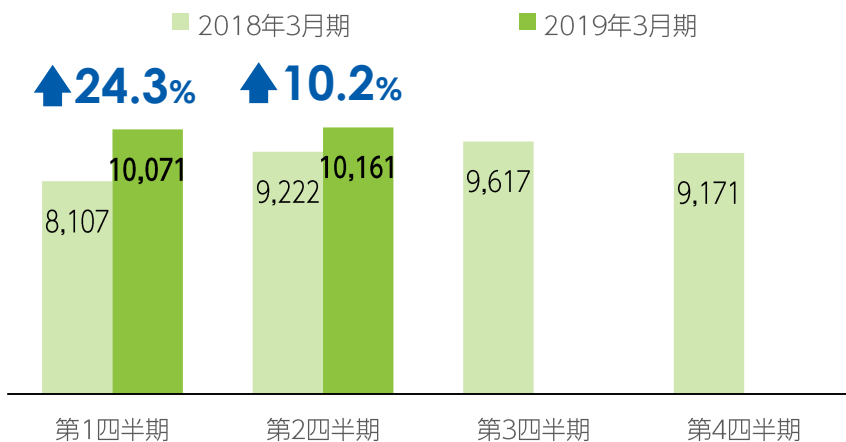


# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業 (分野別売上高)

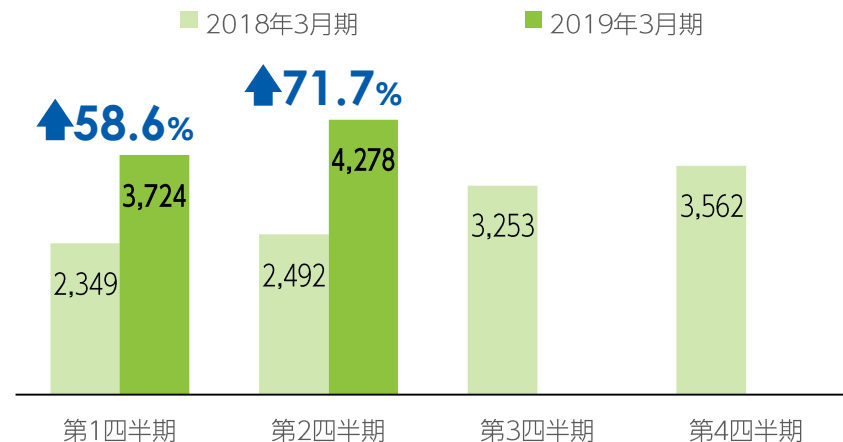
### 半導体・電子部品分野

[百万円]



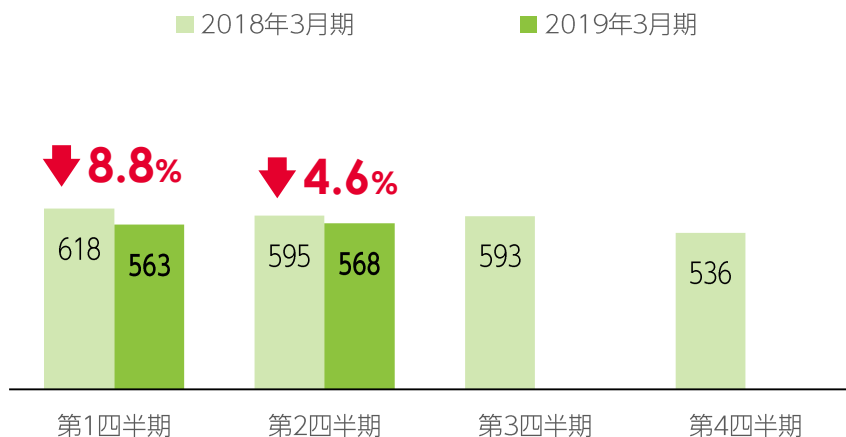
### 自動車関連分野

[百万円]



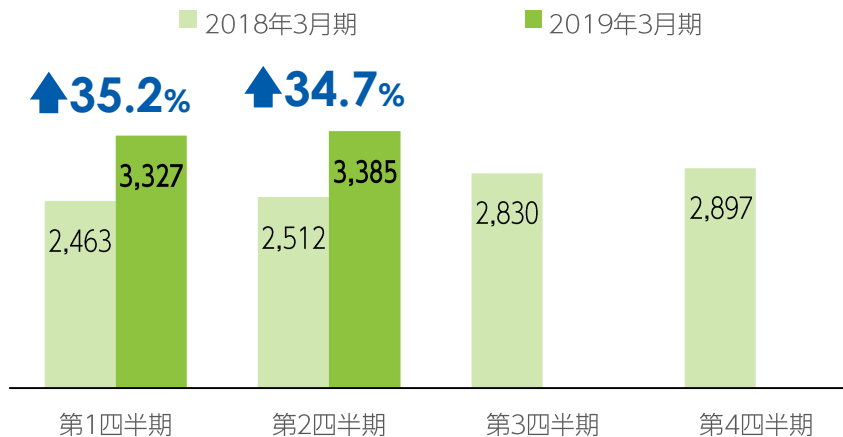
### 住宅分野

[百万円]



### その他分野

[百万円]



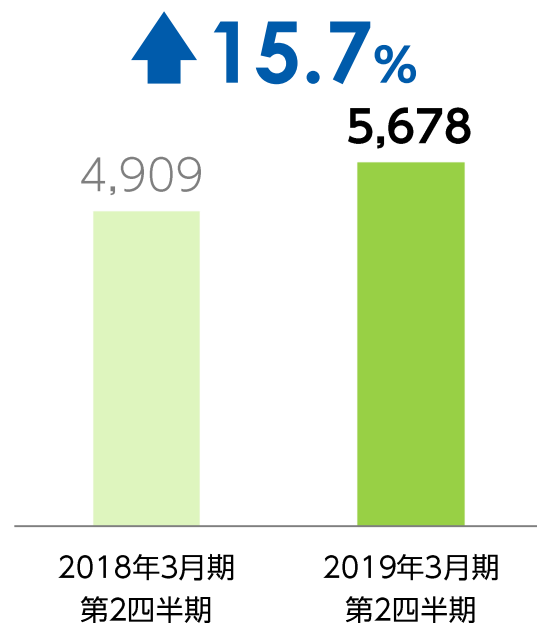
# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 - ソリューション事業

- 前期に立ち上げたUT HPが安定化に加え、  
今期より立ち上げたFUJITSU UTにより売上高が増加
- 第1四半期での立上げ費用等により営業利益率は低下

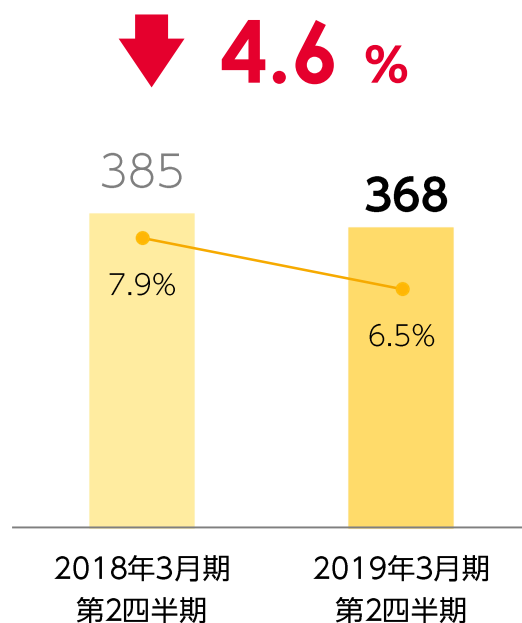
売上高

[百万円]



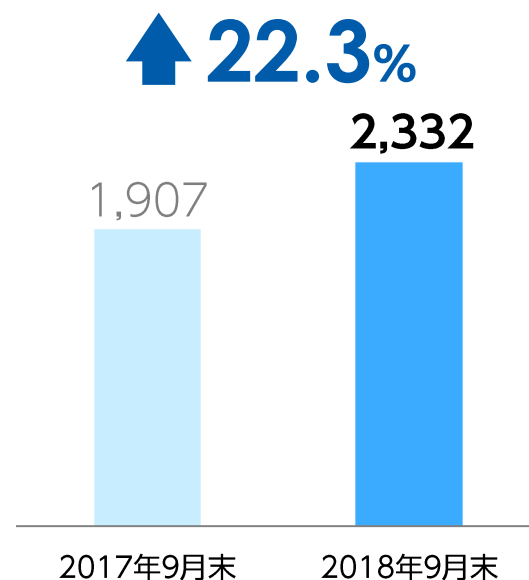
営業利益・営業利益率

[百万円]



技術職社員数

[名]

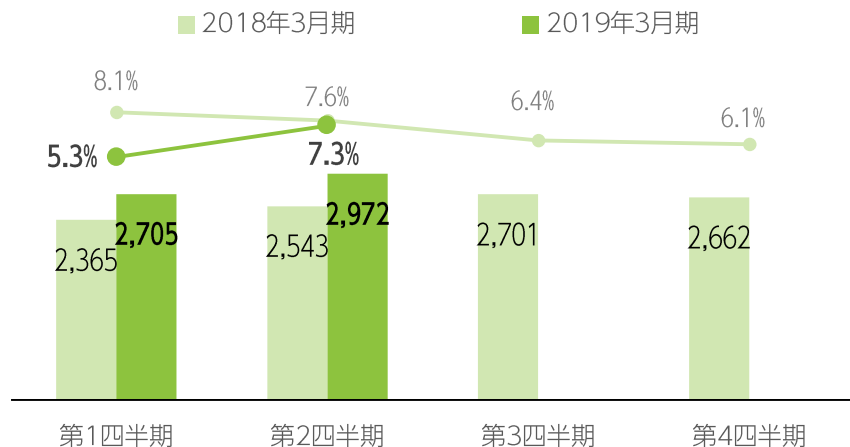


# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 - ソリューション事業

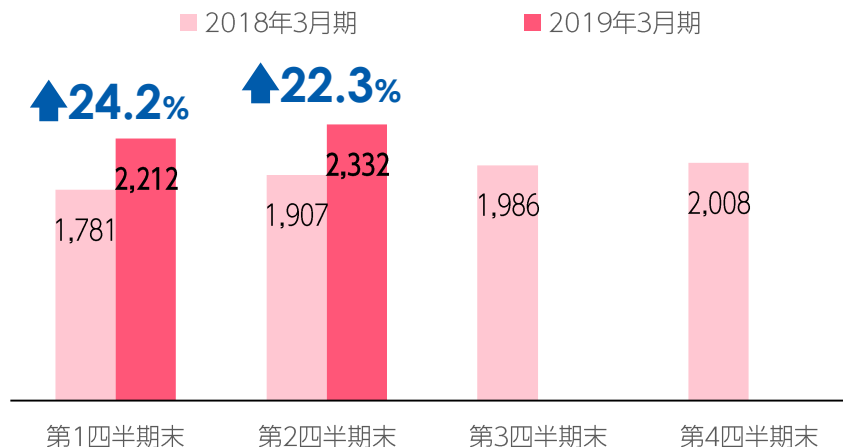
### 売上高・営業利益率

[百万円]



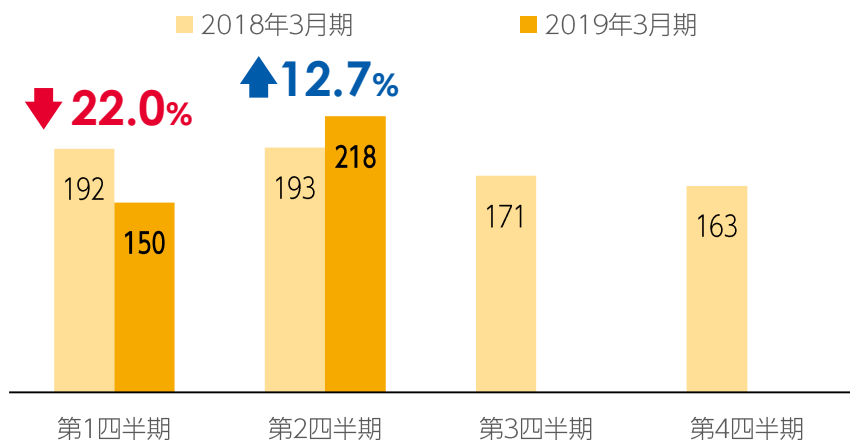
### 技術職社員数

[名]



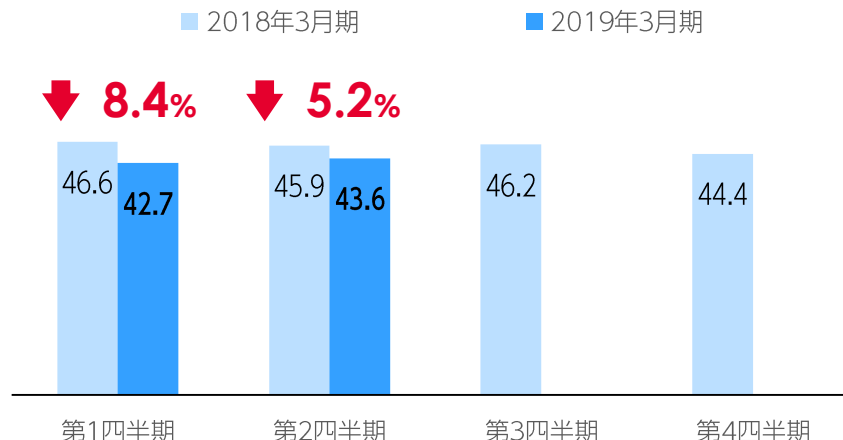
### 営業利益

[百万円]



### 一人当たりの平均月間売上高

[万円]



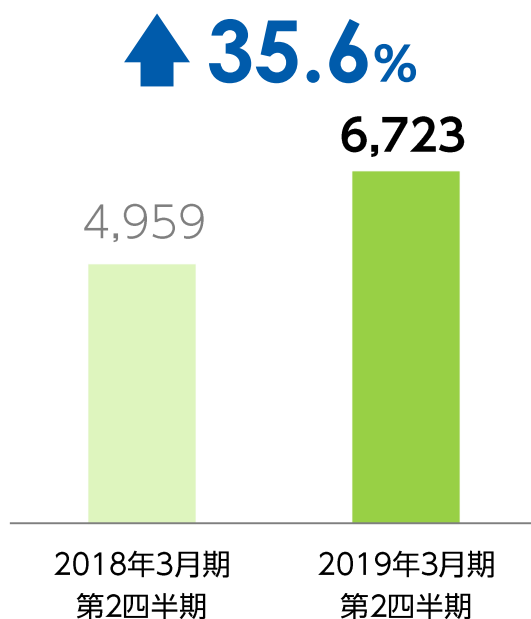
※四半期売上高を期中平均技術職社員数で除したのから1ヶ月の平均売上高を算出

## セグメント別業績 - エンジニアリング事業

- 新卒採用、グループ内転職制度「One UT」により技術職社員数が増加
- 営業管理体制の見直し、子会社統合等により収益性が改善

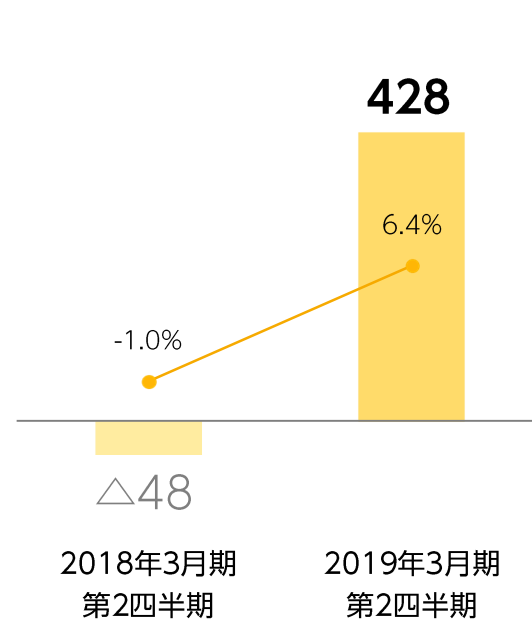
売上高

[百万円]



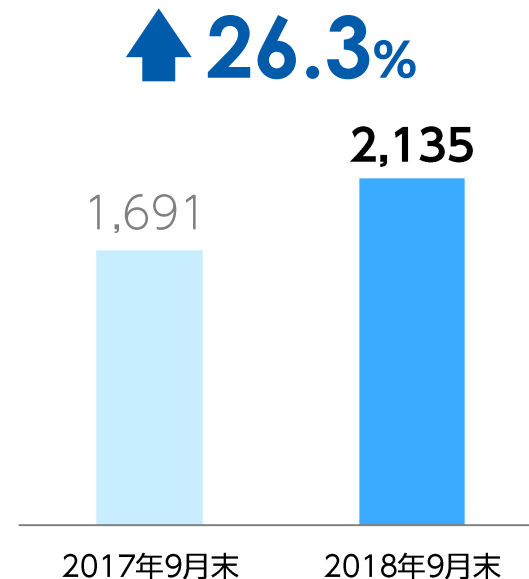
営業利益・営業利益率

[百万円]



技術職社員数

[名]

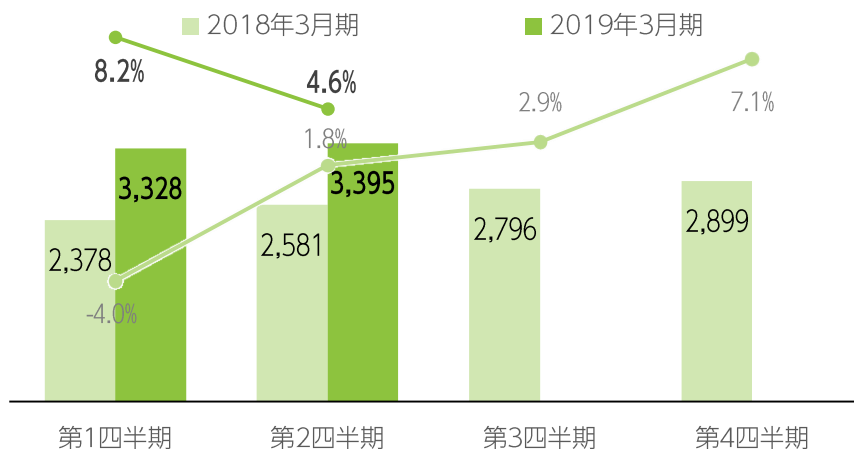


# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 - エンジニアリング事業

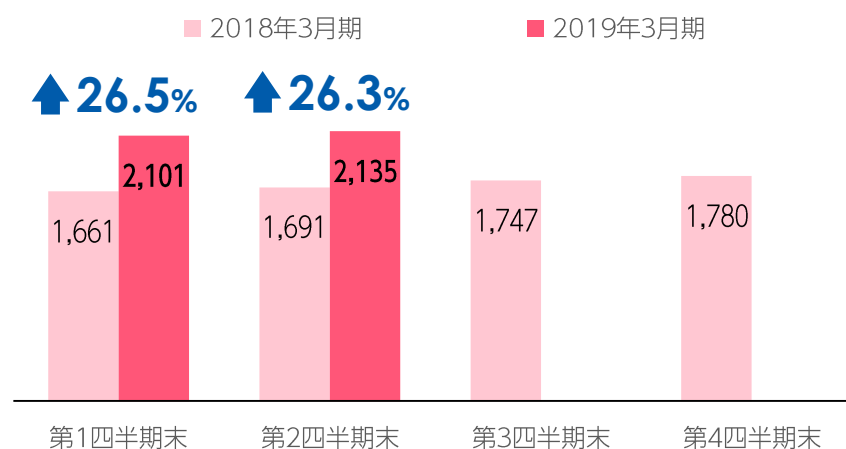
### 売上高・営業利益率

[百万円]



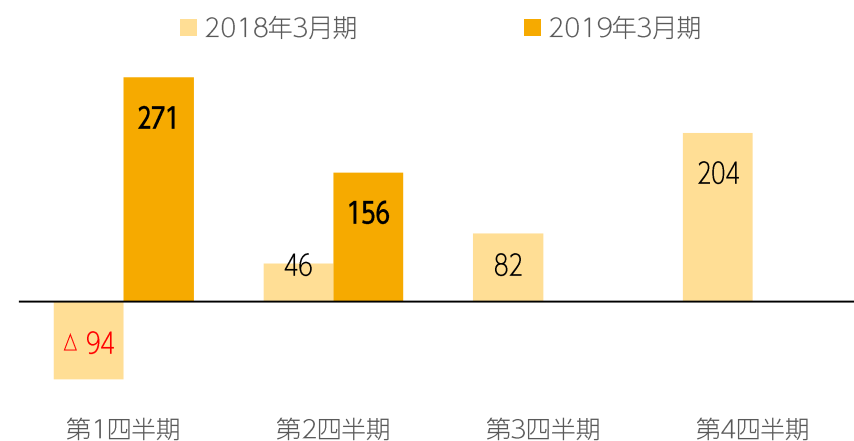
### 技術職社員数

[名]



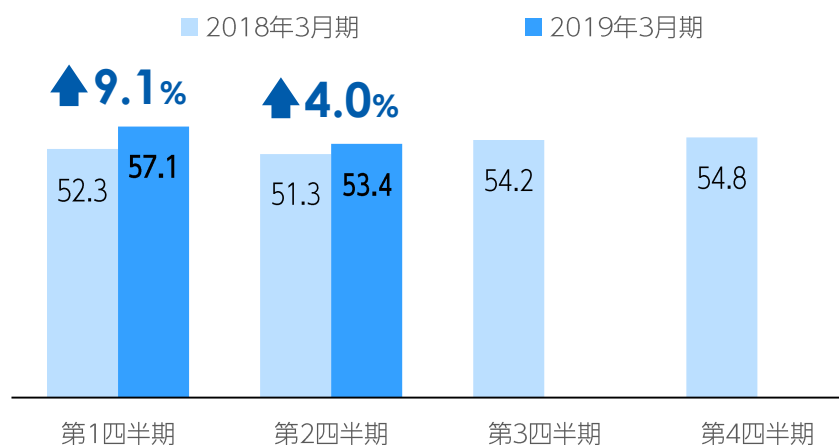
### 営業利益

[百万円]



### 一人当たりの平均月間売上高

[万円]



※四半期売上高を期中平均技術職社員数で除したのから1ヶ月の平均売上高を算出



# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

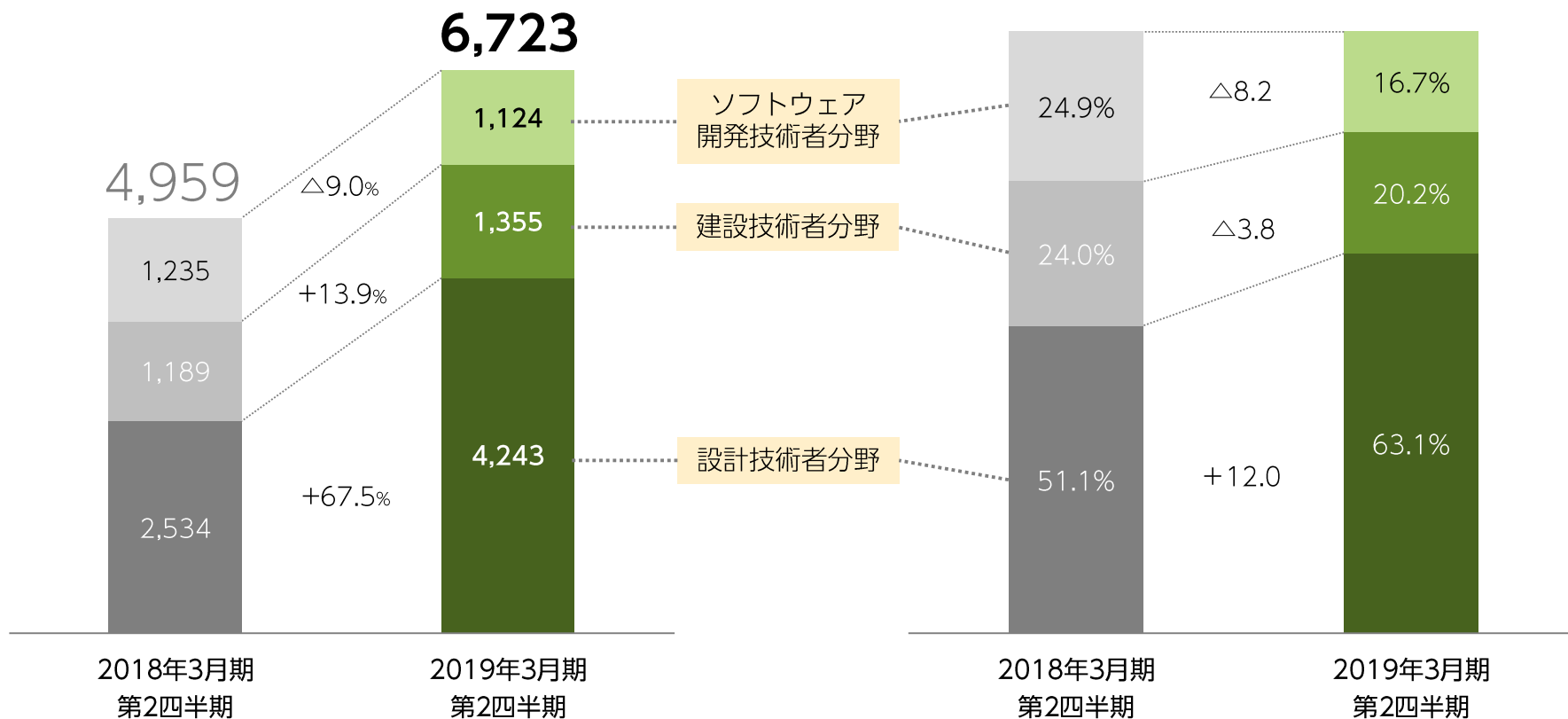
## セグメント別業績 - エンジニアリング事業 (分野別売上高)

- 半導体製造装置、自動車関連で設計技術者分野が拡大
- 子会社の統合により収益性の高い案件への配属が可能となり  
ソフトウェア開発技術者分野が減少

売上高

[百万円]

売上高構成比

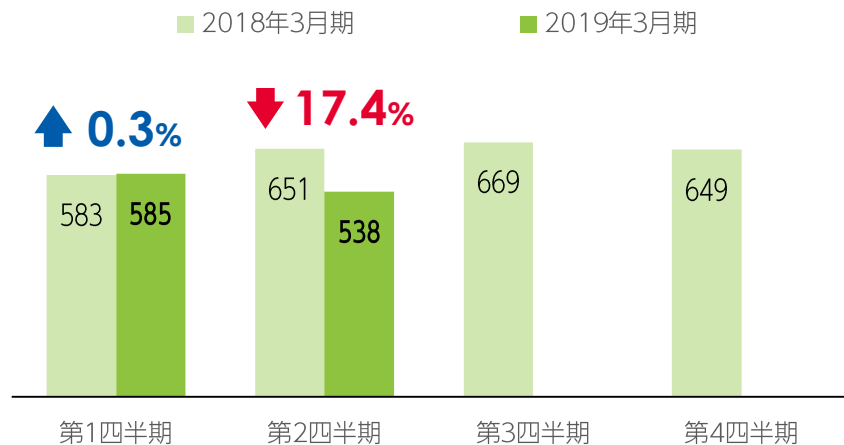


# 1. 2019年3月期 第2四半期 決算概要

## セグメント別業績 - エンジニアリング事業 (分野別売上高)

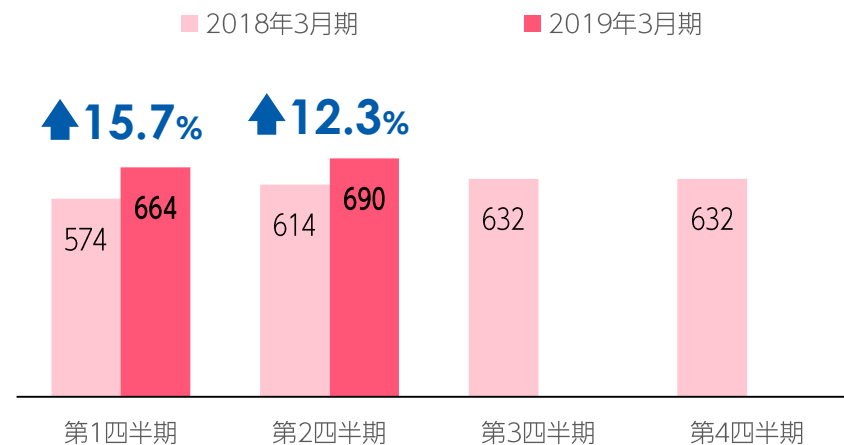
### ソフトウェア開発技術者分野

[百万円]



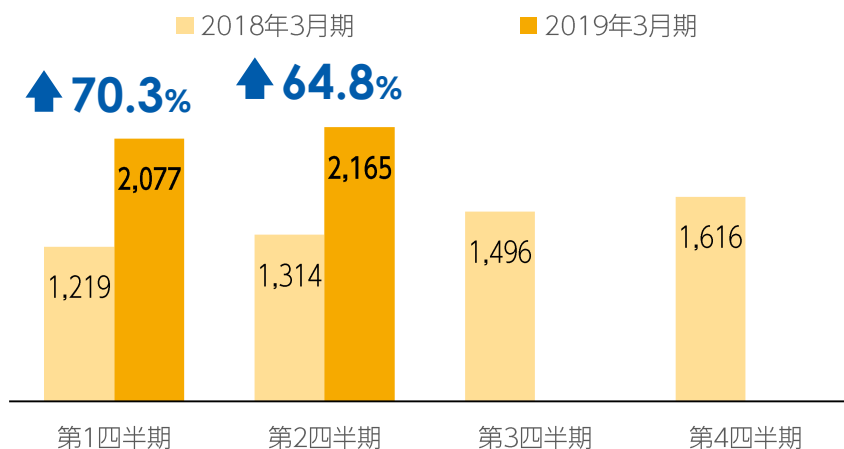
### 建設技術者分野

[百万円]



### 設計技術者分野

[百万円]



## 下期の見通し

各セグメントでの人材需要は強く、上期で自動車関連分野向けの採用体制が確立したことから採用効率が改善し、安定的な収益拡大を見込む。

---

### マニュファクチャリング事業

- 第4四半期以降に向けて半導体・電子部品分野の需要が増加
- 自動車関連分野向け採用プロセスの改善により、第3四半期以降の採用効率は向上
- 定着率のさらなる向上に向けた新たな定着プロセスのF/Sを開始

---

### ソリューション事業

- 顧客企業からの転籍受け入れ増加、電池製造請負需要が拡大
- 電池製造請負において、季節変動の少ない製品が拡大したことにより下期収益は安定化

---

### エンジニアリング事業

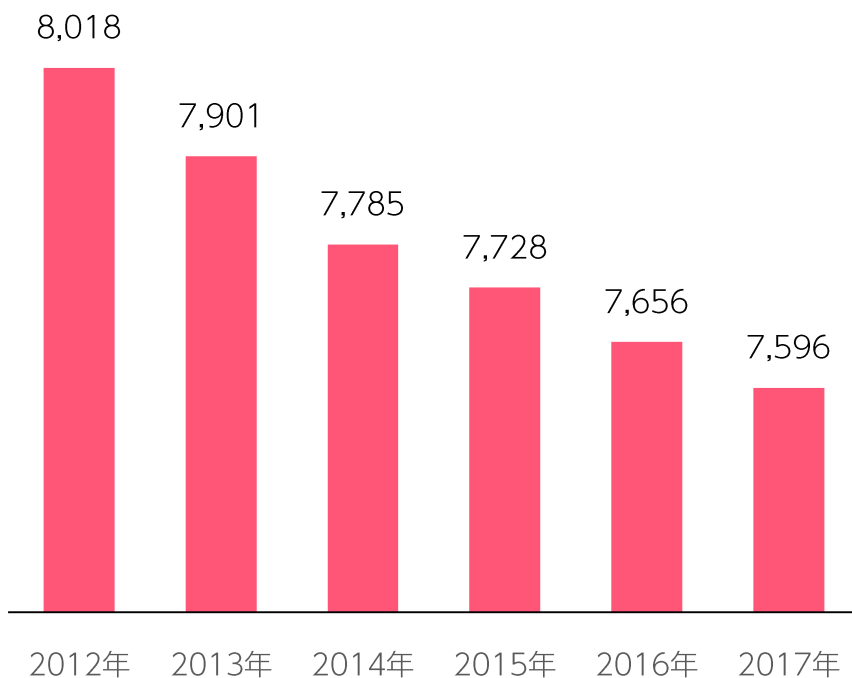
- 半導体、自動車業界の技術者ニーズは引き続き旺盛
- 19卒新卒採用の上積み、中途採用の拡大に向けて戦略的に募集費を投下

## 2. 外国人技能実習生管理代行事業について

# 日本の労働力の変化

生産年齢人口の推移

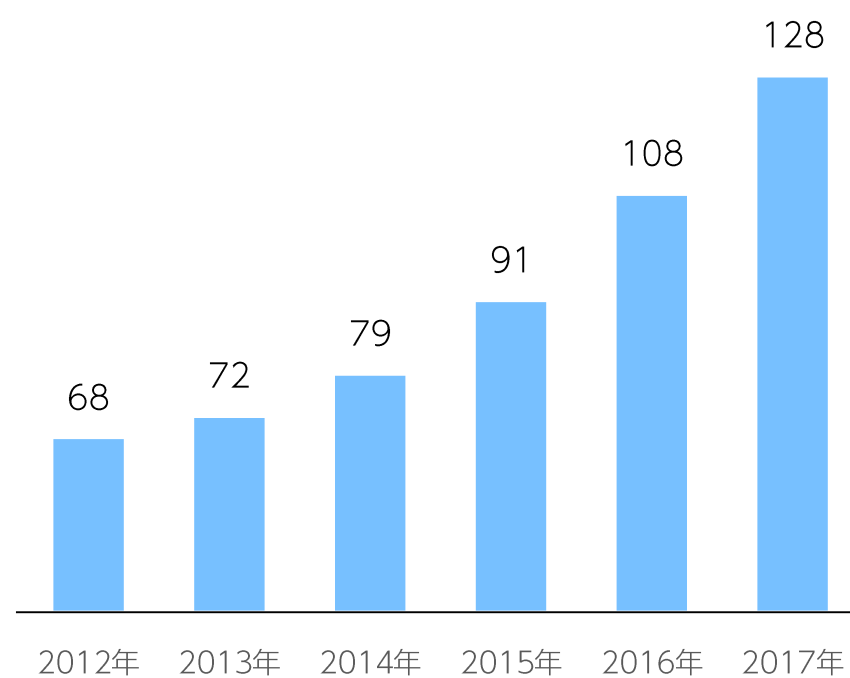
[万人]



出典 総務省「国勢調査」

外国人労働者数の推移

[万人]



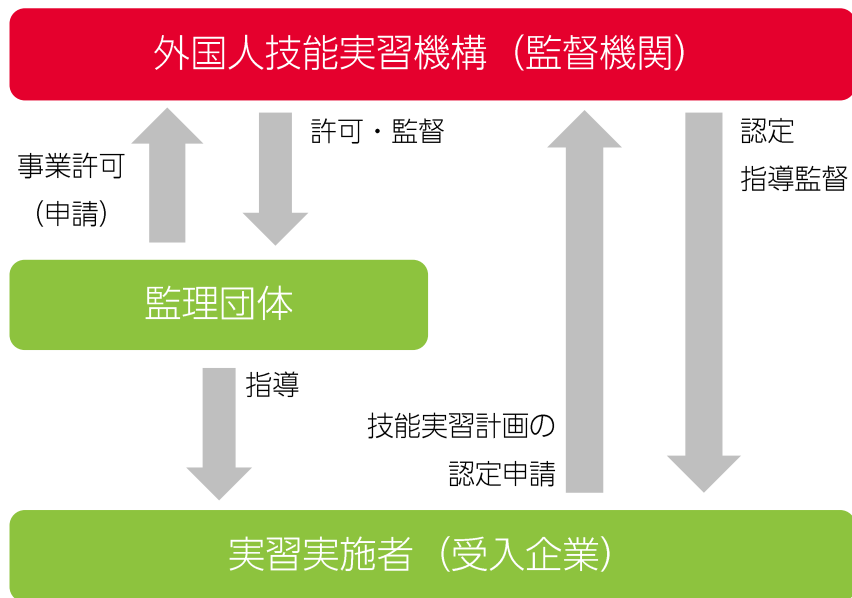
出典 厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

**生産年齢人口減少を補う労働力が必要  
外国人の活用が進む**

## 2. 外国人技能実習生管理代行業者について

# 外国人技能実習制度 (2017年11月1日施行)

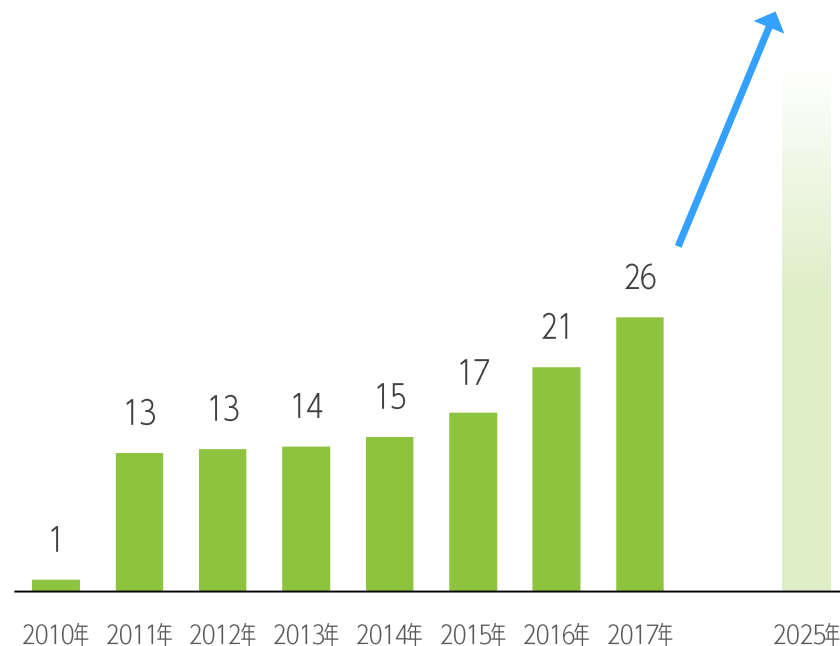
**監督機関が新設され  
外国人技能実習生の保護を強化**



優良実習機関として認定されると  
最大5年、常勤雇用人数の10%までの増員が可能  
(従来は最大3年、5%まで)

## 外国人技能実習生の推移と今後の広がり

[万人]



出典 厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

# 法整備が進んだことで大企業での活用が進む

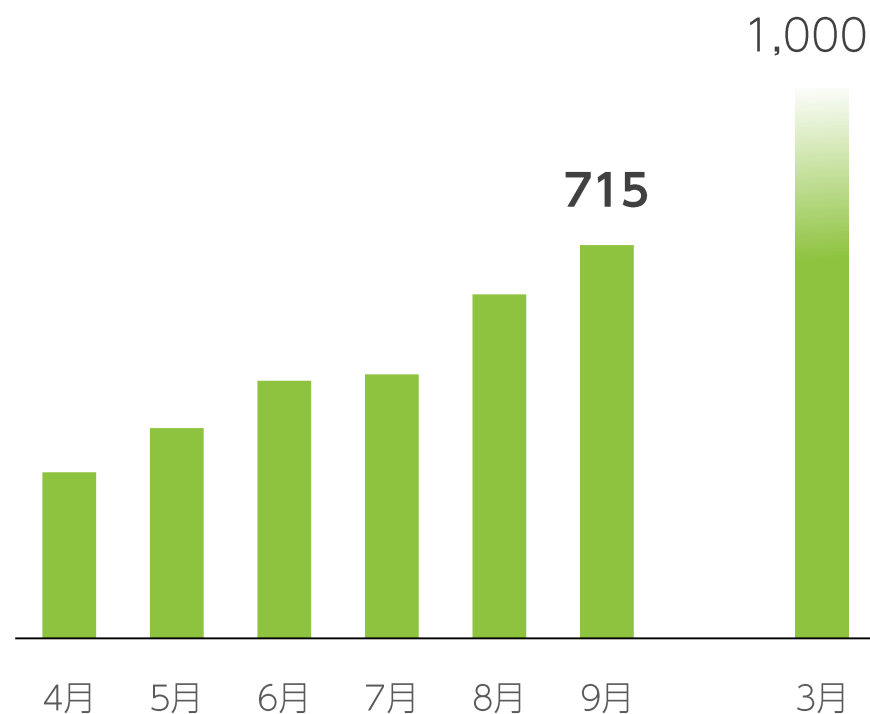
## 2. 外国人技能実習生管理代行業者について

### 事業の状況

- 昨年立ち上げた管理代行業者の管理人数は着実に増加
- 入国までの所要日数も改善傾向にあり、今期末で1,000名規模までの拡大を目指す

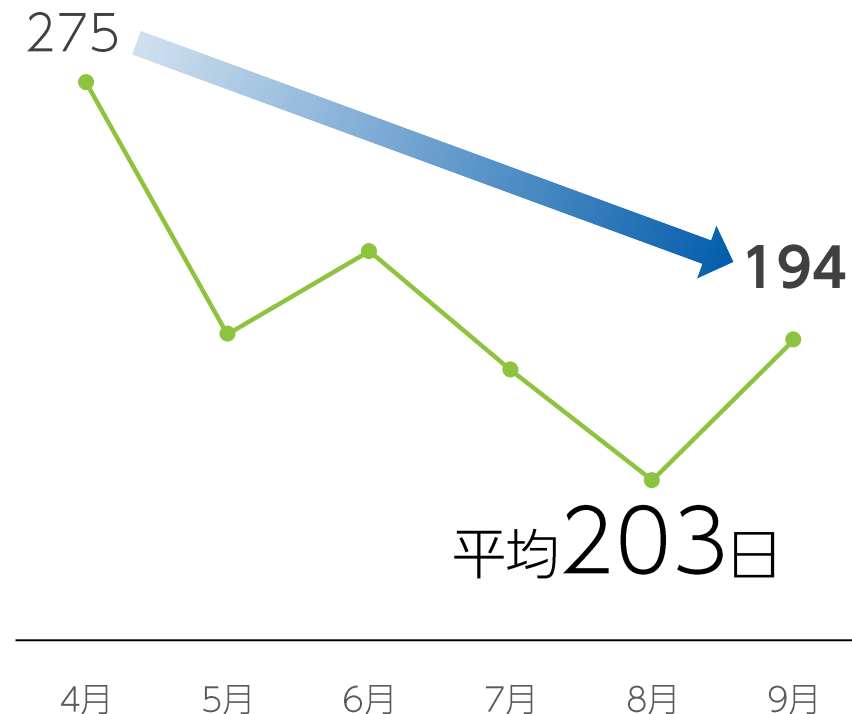
管理人数

[名]



面接から入国までの平均所要期間

[日]



# 3. コミットメント



### 3. コミットメント

## コミットメント

中期経営計画におけるM&Aの推進により、成長と財務の安全性の両立を目指し、2017年3月期よりコミットメントを下記のように変更いたしました。

EBITDA成長率 30%以上 (5ヵ年計画の平均成長率)

総還元性向 30%以上

グロスDEレシオ 1.0以下 (2021年3月期に実現)

#### グロスDEレシオ

企業の資金源泉のうち、有利子負債が株主資本の何倍に当たるかを示す指標で、一般にこの数値が1以下だと財務内容が健全とされる。

#### 総還元性向

純利益のうち株主に配分した額がどの程度の割合かを示す指標

式) 総還元性向 = (配当総額 + 自社株買い総額) ÷ 税引後当期純利益

参考資料

## 4. UTグループについて

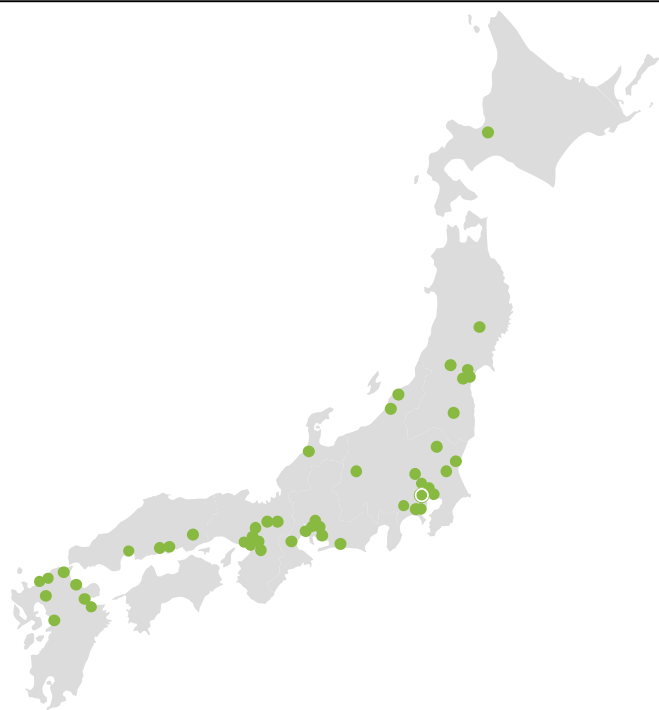
# 会社概要

2018年11月1日現在

### 会社概要

商号	UTグループ株式会社
設立	2007年4月2日
資本金	6.8億円
上場証券取引所	東証JASDAQ（証券コード：2146）
代表者	代表取締役社長 兼 CEO 若山 陽一
所在地	東京都品川区東五反田1丁目11番15号

### 拠点



### グループ会社

#### マニファクチャリング事業

**UTエイム株式会社**  
総合製造派遣・請負

**UTコミュニティ株式会社**  
総合製造派遣・請負

**UTグローバル株式会社**  
外国人技能実習生管理代行

#### ソリューション事業

**UTパベック株式会社**  
電池製造派遣・請負

**UTHP株式会社**  
総合製造派遣・請負

**FUJITSU UT株式会社**  
総合製造派遣・請負

#### エンジニアリング事業

**UTテクノロジー株式会社**  
設計開発・ITエンジニア派遣・受託

**UTコンストラクション株式会社**  
建設エンジニア派遣

**株式会社レイハウオリ**  
Webサイト制作

#### その他の事業

**UTエージェント株式会社**  
有料職業紹介事業

**UTライフサポート株式会社**  
社内福利厚生事業

**UTハートフル株式会社**  
特例子会社

## 4. UTグループについて

# 製造派遣分野のリーディングカンパニー

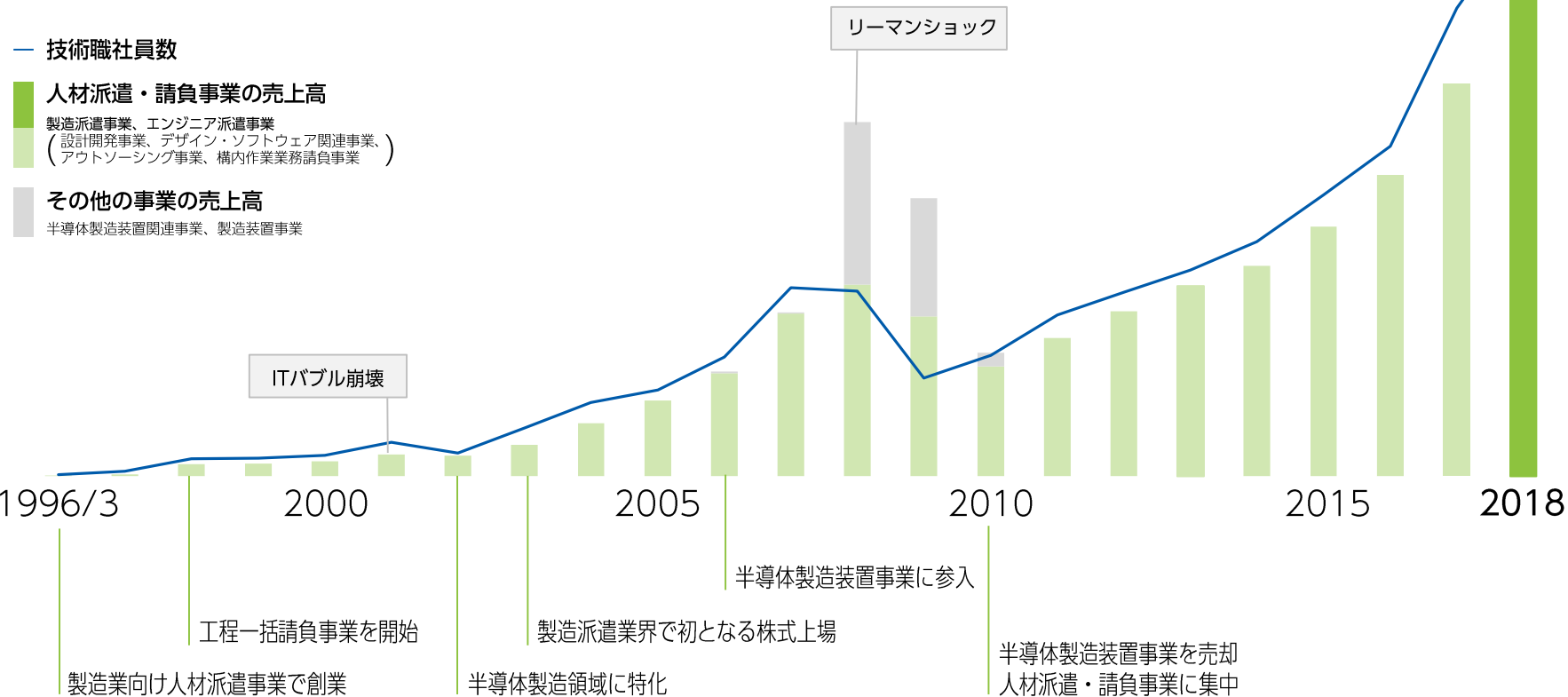
はたらく力で、イキイキをつくる。

創業以来、製造派遣業界では異例の無期雇用による人材派遣事業を展開。

はたらく人の立場に立ったさまざまな制度により

高い定着率を実現し、技術職社員数は過去最高を更新中。

2018年3月期  
技術職社員数  
**18,569**名  
連結売上高  
**817**億円



# UTグループのミッションと戦略

### ミッション

「はたらく力で、イキイキをつくる。」

UTグループは、全てのはたらく人に  
チャレンジする機会を与えます。

一人ひとりが高い目標を掲げ、  
果敢に挑戦することが、  
個々人の成長につながり、  
喜びになると考えています。

私たちは、そのイキイキとした姿が、  
あらゆるお客様の期待に応え、  
日本の未来に貢献する力だと信じています。

### 「イキイキをつくる」戦略

#### 安心・安定した雇用

- 正社員雇用（無期雇用派遣）
- 全国規模での社宅
- 充実した福利厚生



#### チーム派遣 キャリア形成支援

- 工程一括受託
- チームによる人材育成
- キャリアコンサルティング



#### 教育・訓練と機会提供

- 役職員エントリー制度
- グループ内転職制度（One UT）
- エンジニア育成プログラム
- マネジメント研修



#### 企業価値向上の 社員への成果配分

- 社員持株会制度

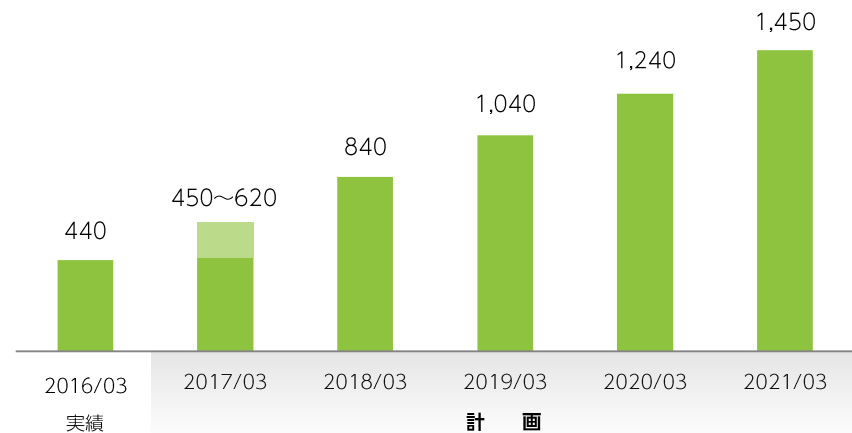


## 4. UTグループについて

# 中期経営計画 (2017年3月期～2021年3月期)

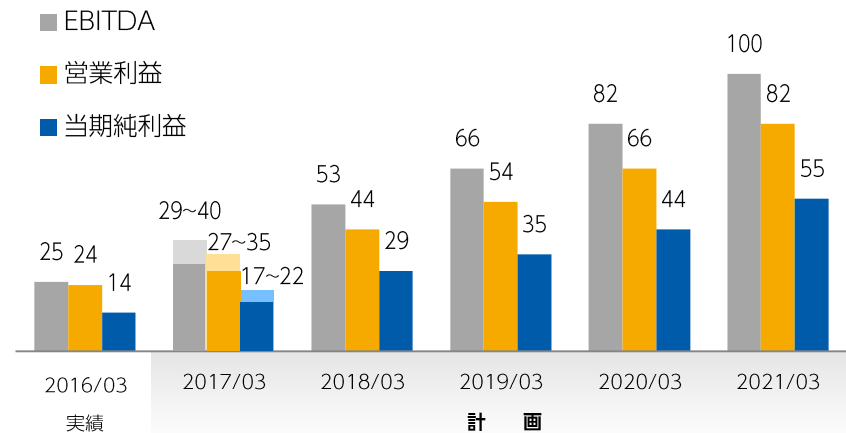
### 売上高

[億円]



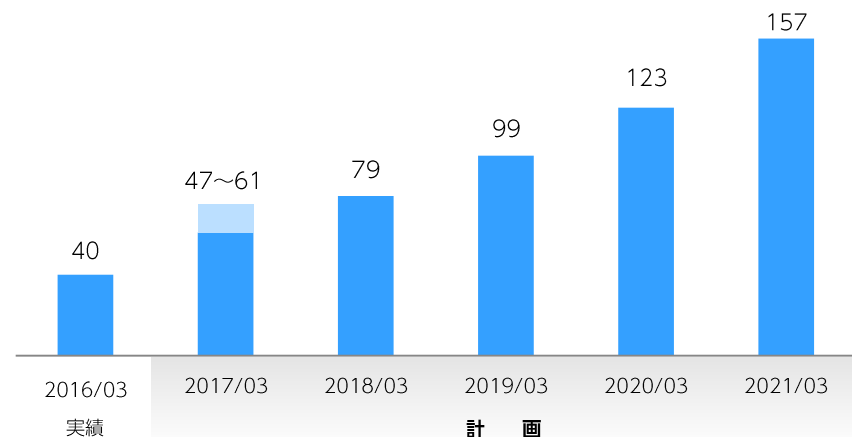
### EBITDA・営業利益・当期純利益

[億円]



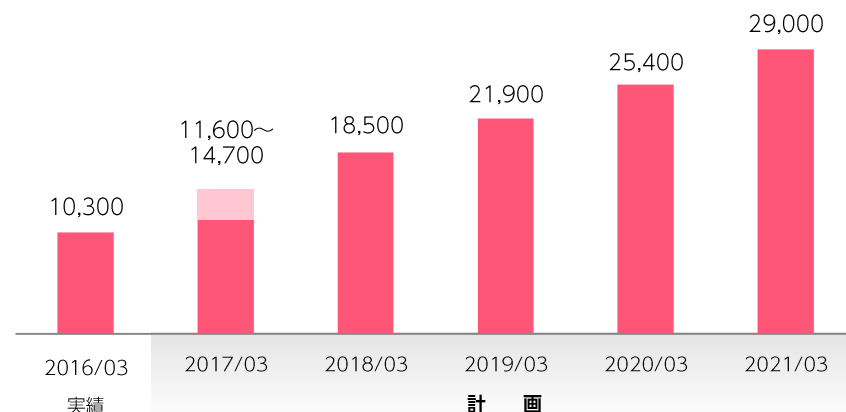
### EPS

[円]

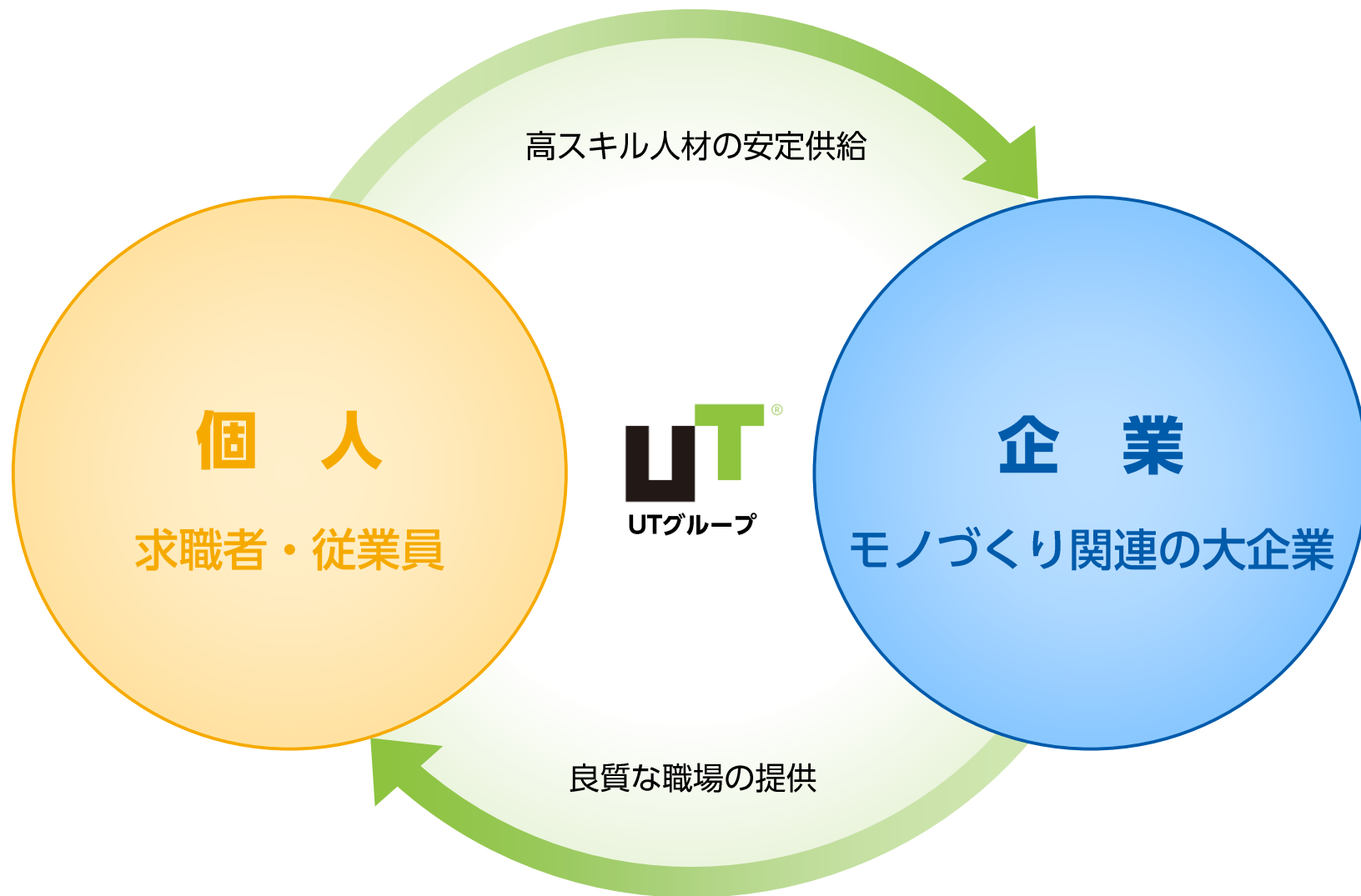


### 技術職社員数

[名]



# ツインカスタマー戦略とキャリアプラットフォーム

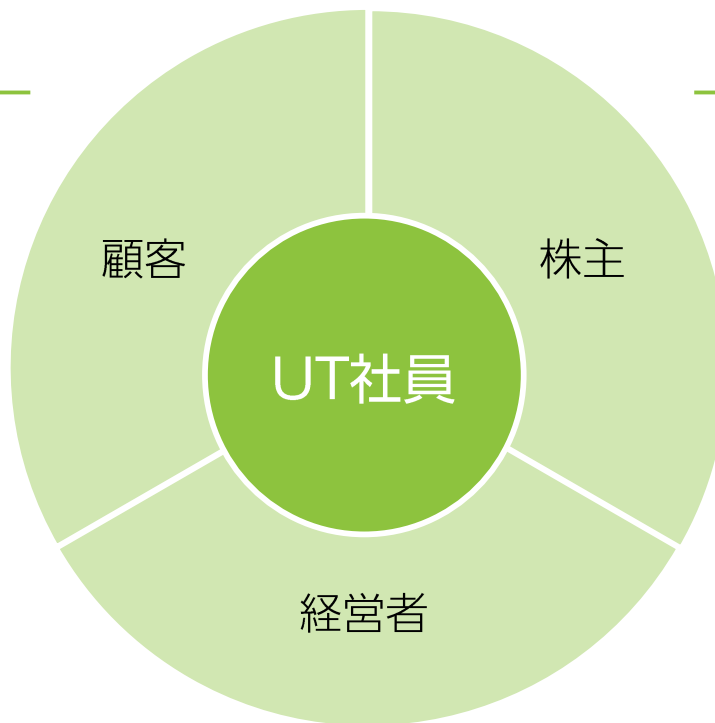


## 4. UTグループについて

# 派遣社員に選ばれる仕組み

### 社員は顧客

正社員雇用  
キャリアコンサルティング  
教育・訓練  
機会提供



### 11%の大株主

社員持株会制度  
ESOP制度

### 執行役員の50%が現場出身

エントリー制度

# 派遣社員が主役の会社だから人が集まる



## 製造派遣業界における事業環境

### 大手製造業の環境変化

改正労働者派遣法

有効求人倍率の上昇

厳格なコンプライアンス  
順守への関心の高まり

労働力需要の  
ボラティリティ増大

大人数需要の拡大



### UTグループの強み

創業からの無期雇用派遣

月間1,000名の採用力

厳格なコンプライアンス体制

常時7,000名以上の  
異動可能社員

業界トップクラスの  
技術職社員数

# 法改正と人手不足による環境変化

### 派遣会社に対する規制の強化と緩和

#### 2015年労働者派遣法改正

##### 規制強化

有期雇用派遣は期間制限あり  
キャリア形成支援の義務化  
労働者派遣事業は許可制に一本化

##### 規制緩和

無期雇用派遣は期間制限なし

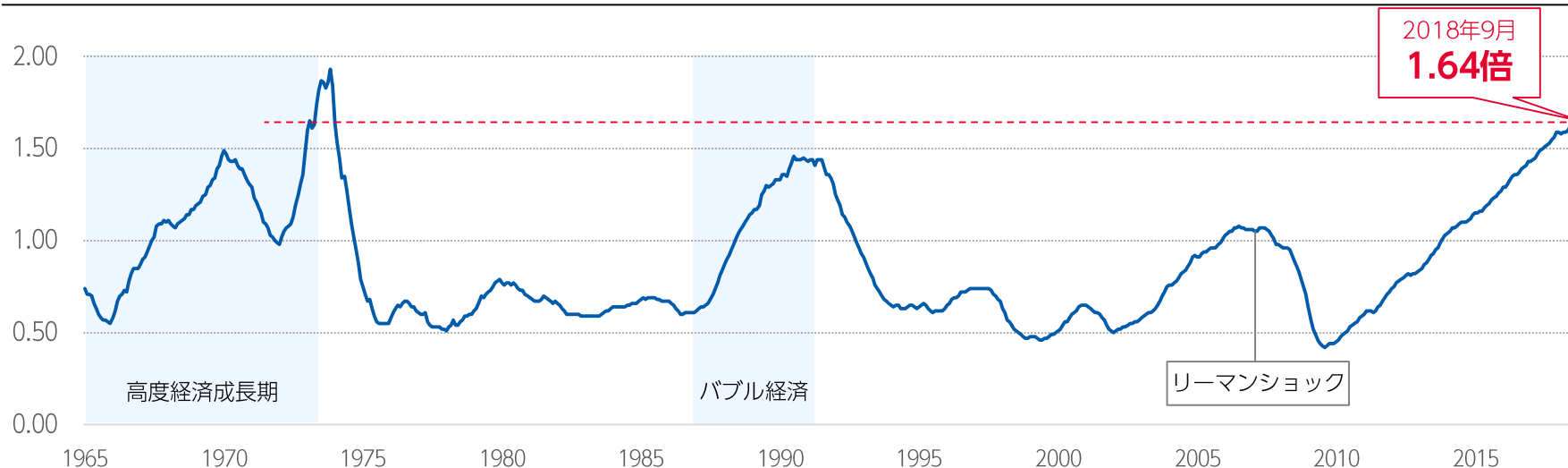
### 契約社員に関する規制の強化

#### 2013年労働契約法改正

##### 規制強化

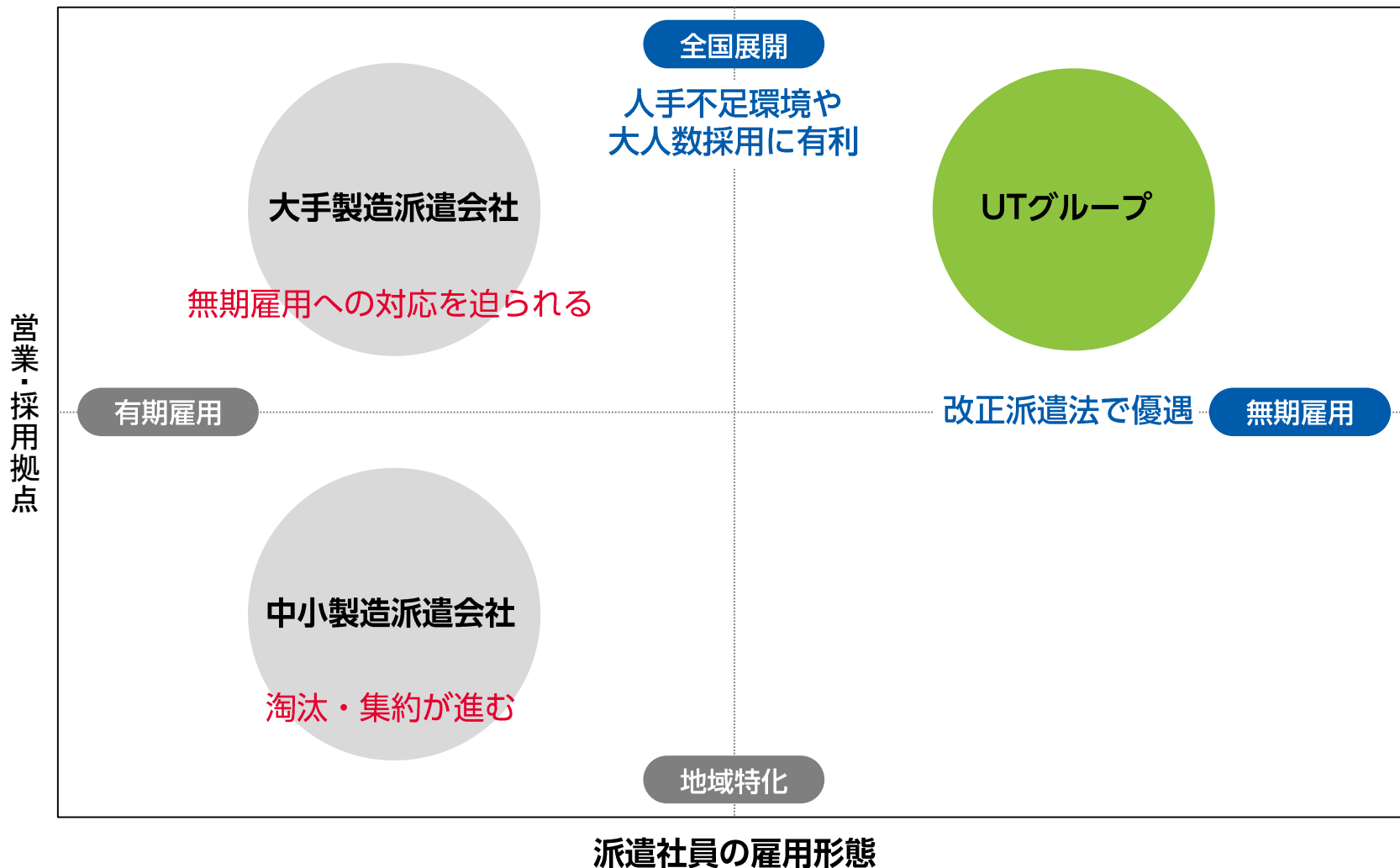
企業の固定費増加リスク

### 上昇が続く有効求人倍率



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

# 環境変化が独自戦略の追い風に



## 4. UTグループについて

# 株主還元方針

### 株主還元方針

当社グループは、『安定した財務基盤の確立と積極的な事業展開による高い成長を通じた持続的な企業価値の向上』を経営目標としており、中期経営計画において、グロスDEレシオ1.0以下（2021年3月期に実現）、EBITDA成長率30%以上（中期経営計画5カ年の平均成長率）をコミットメントとしております。

株主の皆様に対する利益還元も経営の重要課題と認識しており、**配当金および資本効率の向上に資する自己株式取得を通じて、総還元性向30%以上を基準**に、株価水準、事業環境等を総合的に判断して最適な株主還元を実施いたします。

### 総還元性向の推移

[千円]

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
当期純利益	1,168,338	1,497,496	2,033,027	3,534,596
配当総額	-	-	-	-
自己株式取得額	999,985	749,973	609,862	1,060,818
<b>総還元性向</b>	<b>85.6%</b>	<b>50.1%</b>	<b>30.0%</b>	<b>30.0%</b>

$$\text{総還元性向} = (\text{配当金} + \text{自己株式取得}) \div \text{当期純利益} \geq 30\%$$

配当金と自己株式取得は株価水準（PEGレシオ※）で判断

PEGレシオが1倍未満

自己株式取得による還元

PEGレシオが1倍以上～2倍未満

配当金と自己株式取得による還元

PEGレシオが2倍以上

配当金による還元

以上の基本方針をベースに総合的に判断し最適な株主還元を実施

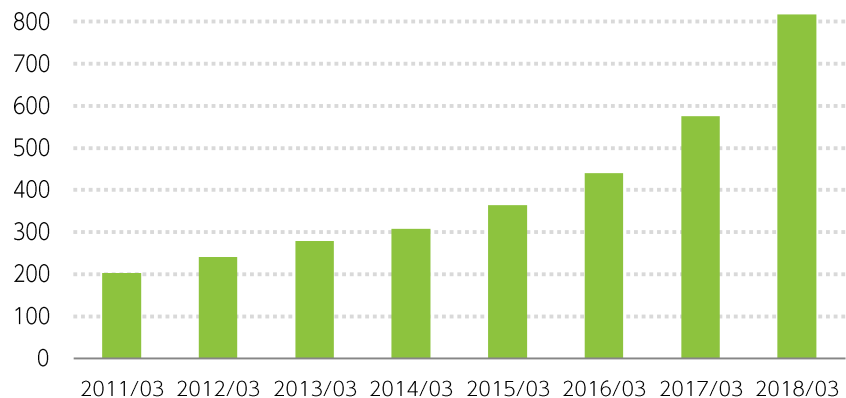
※ PEGレシオ = 予想PER ÷ 年間EPS成長率

## 4. UTグループについて

# 業績推移

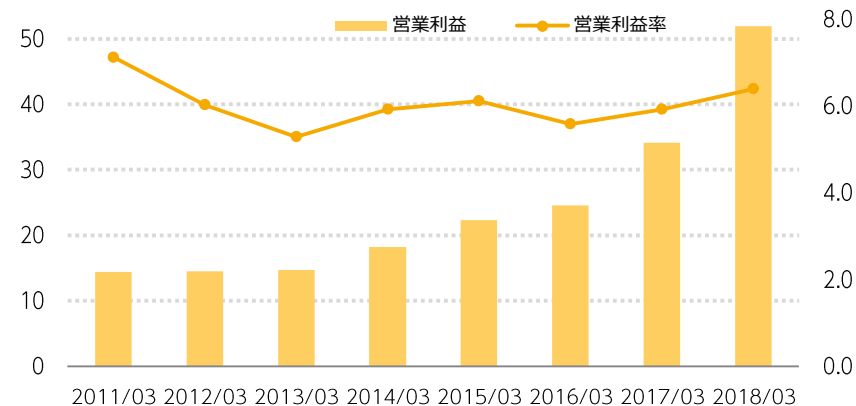
### 売上高

[億円]



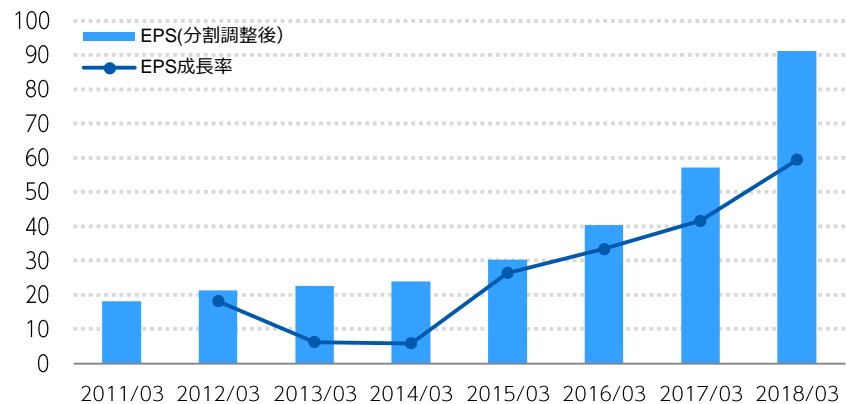
### 営業利益 (左軸) / 営業利益率 (右軸)

[億円・%]



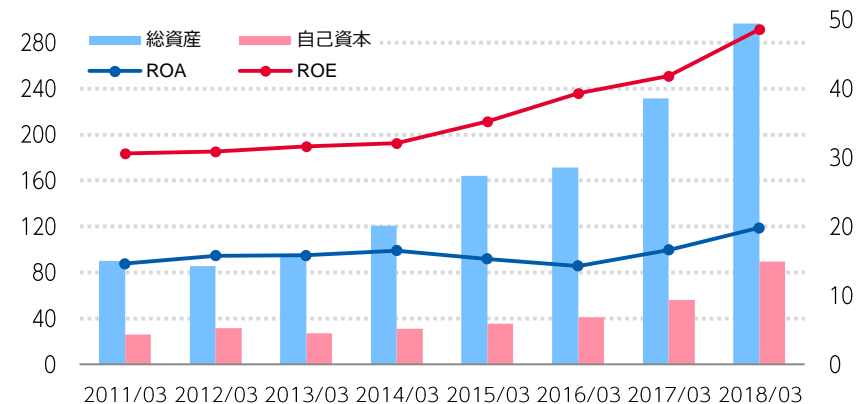
### EPS・EPS成長率

[円・%]



### 総資産・自己資本 (左軸) / ROA・ROE (右軸)

[億円・%]



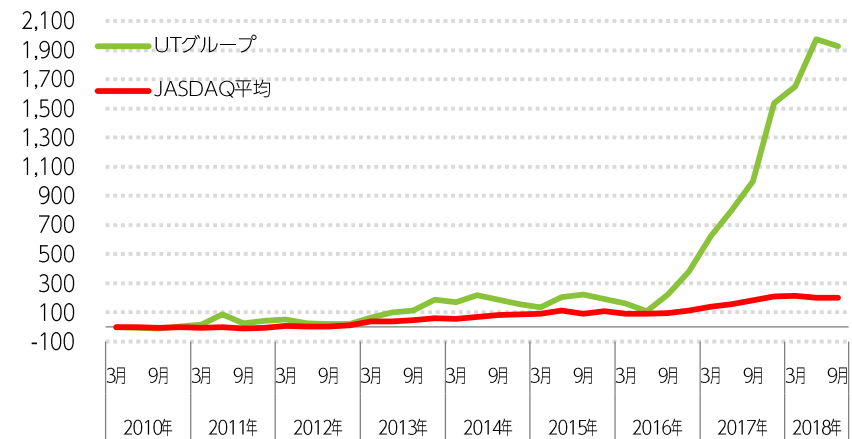
## 4. UTグループについて

# 株価の推移

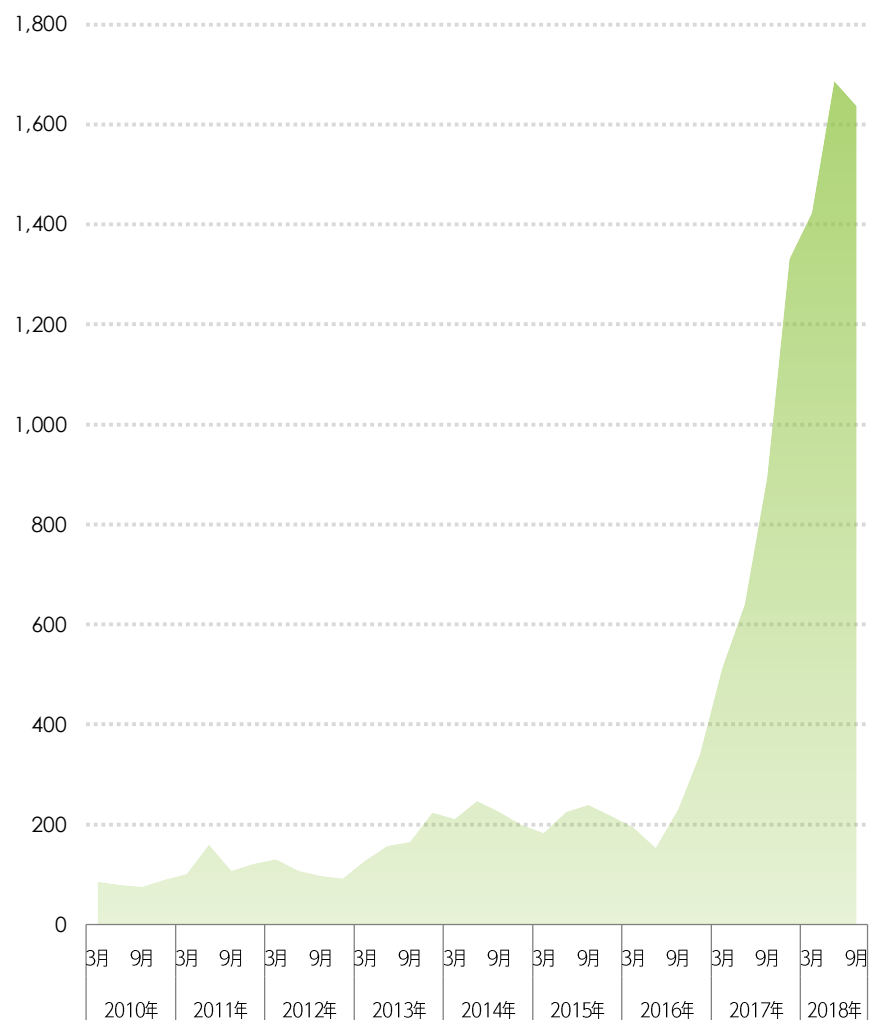
株価 (左軸) / 売買高 (右軸) [円/万株]



株価の変動率 (2010年3月末比) [%]



時価総額の推移 [億円]



# はたらく力で、イキイキをつくる。



Upward Together

## UTグループ株式会社

### 本資料に関する注意事項

本資料は、当社の事業計画の情報提供をするためのものです。本資料に記載された推測や業績予測等は、本資料作成時点における当社独自の判断に基づく計画値であります。また、今後の実際の業績などは、さまざまな要因によって予告なしに変更される場合や、異なる結果となる可能性があります。

### お問合せ先

UTグループ株式会社 社長室  
e-mail: [ir@ut-g.co.jp](mailto:ir@ut-g.co.jp)